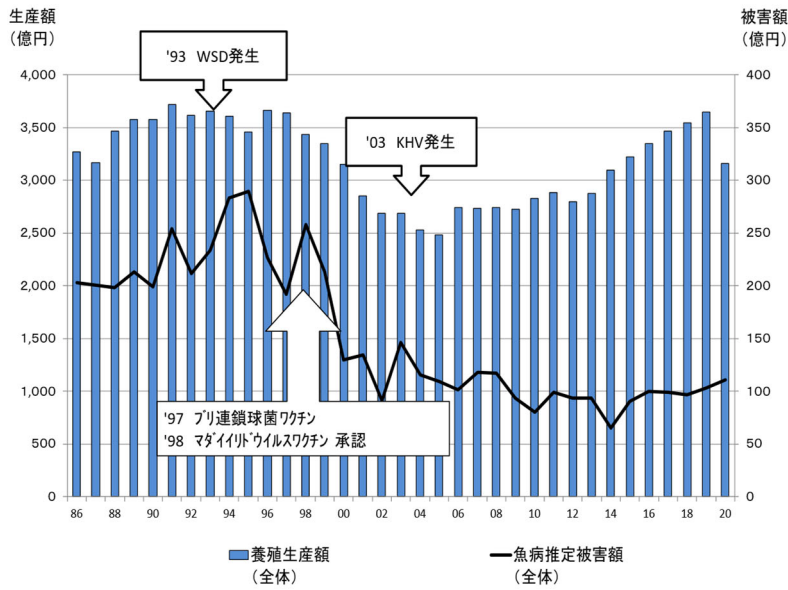


魚病被害の発生状況

1. 魚病被害の発生状況の推移（全体）

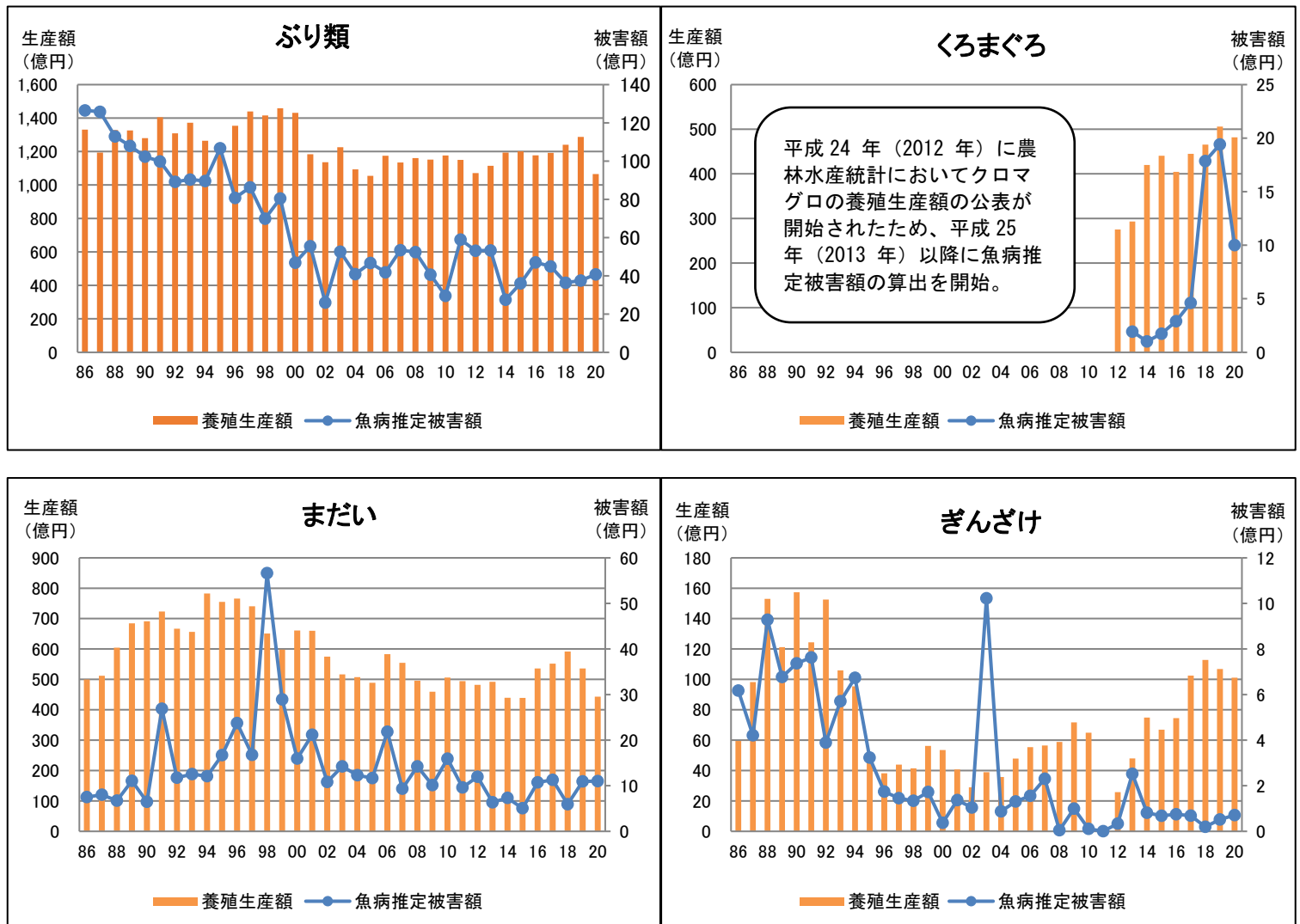


令和2年（2020年）の魚病推定被害額は、全体としては前年（約103億円）から約111億円（推定値）に増加。

このうち、ふぐ類、くるまえび、その他の海産魚類、うなぎ、ぎんざけ等で増加し、こい、くろまぐろ、あゆ、しまあじ、にじます等で減少した。

（※）生産額及び魚病推定被害額（全体）：海面は、ぶり類、まだい、くろまぐろ、ぎんざけ、ふぐ類、くるまえび、しまあじ、ひらめ、まあじ及びその他の海産魚類、内水面は、うなぎ、こい、あゆ、にじます及びにじます以外のます類の合計。

2. 主要魚種における魚病被害の発生状況の推移



注）1 養殖業者へのアンケート調査のデータに基づき作成。

2 魚病推定被害額は、「（農林水産統計による生産額÷調査経営体の生産額）×調査経営体の被害額」によって算出。